

東北生産性本部

# 写真で綴るこの一年



2010・6・25

仙台シンポジウム6月例会

80名参加

『最近の日本政治・参議院選挙直前』

講師：毎日新聞社特別顧問

岸井 成格 氏

2010・12・15

仙台シンポジウム12月例会（拡大版）

120名参加

『国際情勢と日本の役割』

講師：拓殖大学院教授

森本 敏 氏



2011・1・17

新年労使交流会 120名参加

第一部 新春講演会

講師：橋本清仁衆議院議員

第二部 賀詞交歓会



2011・2・9

第3回例会 労使定例研究会

50名参加

～健康づくり～

『食は生きる基本、心身の健康づくり』

講師：東北福祉大学教授

畠山 英子 氏

2011・3・11（14時開始）

仙台シンポジウム3月例会

120名参加

『日本の政党政治の行方』

講師：早稲田大学院教授

北川 正恭 氏

\* 14時46分、震度9の巨大地震発生



2011・3・11（16時半頃）

<東日本大震災>

巨大地震発生後の仙台市内の建物状況

被害額16兆円から25兆円

- ・死者1万3895人
- ・行方不明者1万3864人
- ・避難者13万7696人

（4月18日現在、警察庁纏め）

### 第一義（最も大切な根本的な意義） ～巨大地震の体験～

3月11日の大震災は当会館の7階で被災した。仙台シンポジウムの開催中であり、講演が愈々核心に迫るところであった。そこに上下の激しい揺れ、左右の激しい揺れが起こった。建物を捻じ曲げる軋み、壁からの粉塵、一瞬建物の倒壊を感じた。この世の終わりと覚悟し、外の景色を見ながら揺れを凌いだ。幸い講師の先生、参加者、事務局全員怪我はなく安堵したが、震源地や地震の規模が分からず、心の動揺は収まらない。早々に解散しバスに乗った。車内での人々の話から震源地、地震の大きさが伝わる。豪いことになったと思い、家族の安否が脳裏に浮かぶ。バスは途中で運行を中止、歩くことになったが、横殴りの湿った雪が全身を叩きつける。心も身体も冷え込んだ。その日は余震が続き車の中で一夜を過ごした。徐々に伝わる情報から未曾有の災害であることを知る。何事も事実に向き合うことから始まるが、余りにも悲惨すぎる。被災地は恰も戦争でも起こったような惨状である。今こそ、助け合いである。当本部も何か貢献したい。（S・S）